

# ASUMA

Agri Support Machinery by Mitsubishi

三菱農機ユーザー情報誌

三菱農機だより

通刊

vol.17

クローズ  
アップ

特集

## 経営基盤強化と 6次産業化の取り組み

- ASUMA製品と保証制度
- ASUMA新製品情報
- 三菱ユーザー紹介(熊本/岡山)
- ASUMA農業ファイル  
6次産業 他
- ごはん讃歌 山本譲二さん
- 野菜ソムリエのおすすめ
- 読者広場

# 食と彩

ASUMA  
2号

明日の農業と健康を考える

日本という風土が四季に彩られているからでしょうか、  
古来日本食では色合いを楽しむ習慣が育まれてきました。  
旬の味や新鮮さに色合いを加えることにより、  
おいしさを実感させてきたのです。

野菜や果物の色素にはフィトケミカルという物質  
が含まれています。トウモロコシの黄色にはルテイン、  
トマトの赤にはリコピン、ニンジンオレンジ色には  
カロテンという成分が含まれており、

これらの中には抗酸化作用や抗発ガン性を示す  
ものもあります。色素は健康にも大いに  
影響を与えているのです。

私たちはもつと色どりに恵まれていることを自覚し、  
食や生活の豊さを実感したいものです。

 三菱農機株式会社

余裕の出力&高速刈取速度で高効率作業

## 5条刈 70馬力モデル登場

70馬力高出力エンジンと三菱の核技術の融合でさらなる高効率化を実現。※5条刈コンバイン VG570R

### 湿田作業もアップ

半自動後進上昇機能を採用。湿田作業での後進時、機体のヒップアップ現象の発生による、機体下部の泥の抱え込みを回避でき、湿田でのトラブルを未然に防ぎます。



トリガーレバー

### さらに便利になったモニタ機能

キャビン仕様には、オーガ先端・バックモニタを標準装備。従来のオーガ先端と後方カメラの切替スイッチに、自動切換機能を設定。



自動位置

### さらに余裕の作業を実現

70PS高出力エンジンを搭載(5条刈VG570R)。これまで以上に余裕の作業が行えます。エンジンファンカバー部のフラクズ等の付着を自動で除去する逆転ファンを装備しました。

### 排出作業を支える便利な機能

籾排出時のトラブルを未然に防止する、オーガ排出警報を新たに装備しました。



## 中型・大型 コンバインシリーズ



高出力仕様登場

ASUMA三菱コンバイン  
VY463R/VG563RET/  
VG570R

アスマちゃん新情報

速報!

# 2年間の特別保証期間設定。

三菱農業機械の新ブランドASUMAは益々充実。このたび新ブランド発売記念の一環として、トラクター・コンバイン・田植機(一部製品を除く)に2年間の特別保証の特典を設けました。「ASUMA」の思想の一つ、安心して使っていただくために、三菱農機はさらに一層の努力をまいります。ASUMA商品にご期待ください。

## ASUMAブランド 快調なスタート

三菱農機は情勢と広範なユーザーニーズの変化に対応するため商品力と品質向上を図った新商品の発売を期して新ブランドASUMAを誕生させました。ASUMAとは Agriculture 農業 Machinery 機械 の頭文字をとって命名したものです。日本農業の明日に貢献するため、多様なニーズに対応、「農業のソフトとハード」

の面から商品構成と販売体制を見直しました。新思想を織り込んだ新型トラクター・汎用コンバイン・新型田植機を続々発表してまいります。

また日本の農業をサポートする「総合農機メーカー」という考え方も「ASUMA」が目指す志の一つです。ASUMAブランドのトラクター・コンバイン・田植機(一部製品を除く)に2年間の特別保証の特典設けたのも、その一環です。



## 3つのサポート

### Anzen 安全のA

ユーザーの皆様が安全に作業していただけるよう安全装備の充実に努めてまいります。

### Anshin 安心のA

安心して使えるよう、三菱農機ではトリプル検査を行います。工程内、完成後、さらに出荷前と三重の検査をしており、ユーザーの皆様が安心して使えるように品質管理に努めています。

### Asu 明日のA

明日の農業をサポートするために、三菱農機はユーザーの皆様の多様なニーズにお応えし、一層の省力化や労力軽減を目指して、より良い商品開発に努めています。

## 本格コンパクト4条田植機登場



ASUMA三菱田植機 LE4

## ますます使いやすくなった4条田植機・LE4

### パワーアップエンジンでさらに効率良く

最大出力10PSのパワフルエンジンGT1000を搭載。トランスミッションの減速比を最適化したので、車軸トルクが最大28%アップしました。



### AZハンドルが使いやすく進化

「機体前おさえ」「ハンドルロック」「クラッチ入切」「4輪ブレーキ」の4つの操作がハンドルレバー1本でできます。超低速走行と合わせて、圃場の出入りがますます安全に行えます。

### ワイドステップで足元広々

全仕様にワイドステップを標準装備。苗補給作業等、機体上で不安定な姿勢になりがちな時も、足元に余裕があるので安心です。



### 使いやすく進化したまくらっこ機能

まくらっこレバー1本で、簡単にまくらっこの駆動「入・切」と格納高さ調整ができます。クラッチの入れ忘れによるトラブルを未然に防止し、安心して作業ができます。

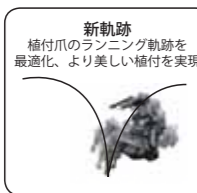


苗スライダー(別売品)

## 作業効率を向上させる充実機能が満載!!

### 新軌跡採用できれいな植付

植付性能を高精度化。ニューダブルアクション、新軌跡、動力伝達の相乗効果できれいな植付を実現。疎植の時も、高精度な植付けができます。



### 電動まくらっこで操作がさらに簡単に

まくらっこを電動化し、入・切操作は運転席に座ったまま簡単にできます。圃場条件に合わせて、まくらっこ高さの微調整がダイヤルでできます。植付深さを変えると、ロータも連動して上下します。

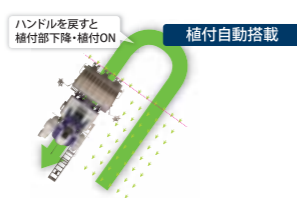


### 18L大容量燃料タンク

燃料タンクが18Lと大容量に。長時間の連続作業ができ、燃料補給の手間が減ります。

### 旋回・植付作業が簡単・スーパースマイルターン

植付自動制御を搭載。スーパースマイルターンなら、旋回植付作業はハンドルを握ったままでOK。通常の「U字ターン」も「ドン突きバック」も確実に植付ができます。



## スタンダード5条田植機



ASUMA三菱田植機 LE5

## コンパクトボディ&高効率作業の両立

### スーパーeスレッシュャーがさらに性能アップ

撥水揺動流板に、新採用の撥水コートを施しました。撥水性が向上し、優れた選別性能を発揮します。



### 排出機能がさらに便利に効率良く

運転席にしながら排出作業ができる、便利な有線リモコンを採用。



### 刈取機能の向上でさらに作業性アップ

刈取部に中分草ガイドを採用。倒伏材の刈取りが、さらに効率良く行えます。



### 安心・安全作業をしっかりサポート

従来機から搭載している緊急エンジン停止スイッチが、パワーアップしてさらに安全に。



### 旋回操作性がさらにスムーズに

ブレーキターン制御方式を、可変リリーフバルブから比例制御弁に変更。さらに軽力でマルチステアリングレバーの操作ができ、長時間作業の労力が軽減されます。



## 中型コンバインシリーズ



ASUMA三菱コンバイン  
VS329/VS334/  
VY434



岡山県勝田郡勝央町をお訪ねしました。



東さんは受託分も含めて苗床を3000枚も作っています。苗を植え付けてから出荷するまでは約一ヶ月。この時期も忙しくなります。



ナス、ホウレンソウ、ハクサイなどの野菜作りは逸男さんの担当。直売所へ持って行き、シールを貼って販売している。

「作州黒」の収穫は9月初旬から10月下旬まで。今年は大変いいので全体に早めになりそうとのこと。



USER VOICE

岡山県勝田郡勝央町

東逸男さん(右)  
竜矢さん



ご自慢の「きぬむすめ」の出荷風景



お米と特産黒豆を組み合わせて安定経営

岡山県の北東部にある勝央町は黒大豆の産地として有名ですがその中でも特に大粒の黒大豆は「作州黒」と呼ばれています。これは特級の黒大豆で、生産量も少なく、高価なため、一部の食通の手に入らない、いわば幻の黒豆といわれています。

JA勝英では、「作州黒を普及させるため、枝豆やお茶までブランド化し販売につとめています。」

その「作州黒」を作っているのが今回お訪ねした東逸男(61)さん、竜矢さん(27)親子。東さんは70aで黒大豆を作付、年産700キログラム。「黒豆は手間がかかるので人手がないと作れないんですよ」と逸男さん。

「作州黒」は6月10日に種まきし、一週間くらいで芽が出ますが、種まき後、3日以内に雨が降れば芽は出にくくなるため、苗を補植します。その後、谷あけ(土寄せ)をしますが、この作業が容易ではありません。このように黒豆の栽培は他の作物に比べれば格段に手間がかかるのです。価格が高くなるのも当然でしょう。

収穫は早い人で12月上旬。遅い人は年があけて2月、3月になっても収穫します。東さんは年明けの1月上旬から収穫するそうです。ハサミで茎の根元から切った黒豆は、トラックで家に運び、ハウス内で乾燥させてから鞆がけしたまま出荷するのです。

新品種「きぬむすめ」を中心に大規模生産へ

東さんの総耕作面積は6haで、そのうち4haで米を作っていますが、請負を3haこなすほか刈り取りの作業受託を3ha、近くの農家が持ち込んでくる2ha分の乾燥も引き受けています。

米は「きぬむすめ」が大主です。「シシヒカリの孫にあたりますが、艶と粘りがあって、食味は「シシヒカリ」より上と評判です。

「私の所では、全量を業者に売っていますが、

熊本県山鹿市をお訪ねしました。



食味向上のために散布する葡萄エキスの仕込み

煙草の乾燥施設



USER VOICE

熊本県山鹿市

尾形清昭さん  
奈美子さん



尾形さんが持っている機械は全部三菱。トラクターはGS250、GX511、コンバインはVS328、田植機はLV5。「販売店が近いから、なにかあったときすぐにきてくれる。アフターのよさが気に入っている」と満足そうだ。



たわわに実った、ご自慢のヒノヒカリと尾形さん



「山鹿灯籠祭り」で有名な熊本県山鹿市は、県内屈指の米どころ。灯籠祭りの名前をとって「灯籠米」というブランドまで作っているほどです。山鹿市は九州山地が迫る盆地ですから、水源も多く、きれいな水が流れ、米作りには最適な地なのです。

市内北部の蒲生(がもこ)で農業を営むのが尾形清昭・奈美子さんご夫婦。3.5haで水稻を作っているほか、葉タバコを1.7ha、ハクサイを15ha、麦を2ha、カボチャを30a、スイートコーンを30aと、幅広い品目で複合経営をしています。

尾形さんの経営で注目すべきは、積極的に販売に取り組む姿勢です。尾形さんが作っている米は全量を自ら販売しています。福岡や茨城へも出荷しています。

「軒につぎ年間2俵から10俵くらいですが、一度契約してくれたお客さんはずっと続けていただいています。値段は決まっていますが、安定しているのかなによりですと尾形さん。」

尾形さんは飼料米として2haを作っている。すべて畜産農家と契約している。種をまくだけで後は畜産農家におまかせ。11月初めに畜産農家が人をつれて刈り取りにきてくれ、稲藁も持ち帰ってくれます。

野菜も契約栽培が中心です。「カボチャとスイートコーンは北九州市のハイヤーと契約しています。今年は市場では過剰生産気味でしたが、うちはそここの値段でしたね。」

また山鹿市は葉タバコ栽培の適地で、昔から栽培者が多い地域です。収入が安定していることから、後継者も育ってきていたのですが、現在はタバコ需要は激減しています。全国で3割も葉タバコ生産者が減ったとのことですが、尾形さんの家でも作付けが減りました。

「たばこは夏場の収穫作業が特にきついですね。機械でもできない作業も多く大変です。」

今このころ奥さんの奈美子さん(61)と二人でなんとかやっていますが、尾形さんの目は葉タバコよりも新しい米作りや野菜のほうへ向いているそうです。

東京の宅配サービス会社と契約

尾形さんは今年から45aで有機米を始め、東京へ出荷することになりました。「5でいっしょぼーや」という東京にある有機減農薬作物専門の宅配サービス会社と契約したのです。去年まで同社が契約していた東北地方の農家が原発事故の影響で供給できなくなったため、代わりに尾形さんに白羽の矢が立ったのです。

尾形さんに声がかかったのは実績があったから。尾形さんは、18年前に5、6人の仲間といっしょに「アグリプラン山鹿」という高品質の作物生産グループを立ち上げました。このグループで作った米はハイヤーの間で評判がひろまると、グループの生産量も年々ふえていきました。次第に販売も手がけるようになり、今は新しいルートを開拓して直接販売しています。

葡萄、ステビア、海草エキスなどを活用して米作り

消費者は、有機減農薬作物を志向していますから、生産者もそれに沿って栽培方法を工夫しています。尾形さんが今手かけているのがステビアや海草エキスなど。ステビアというのは砂糖の300倍くらいの甘さがある植物で、これを粉砕して堆肥に入れると微生物による発酵が促されるのです。海草エキスも葉の表面に散布します。海草エキスは、養殖ワカメの産地までとりにいきます。ワカメを収穫したあとに残った分をまとめて買うのです。船を一艘借りてアグリプランのメンバーと乗り込み、残ったワカメを集めます。それを運んできて黒砂糖を入れて、自然発酵したエキスを稲や野菜に散布するのです。

ほかにも葡萄を発酵させたエキスを散布したり、堆肥にまぜて利用しています。観光農園などで取り残された商品にならない葡萄をもらってきて、砂糖を入れて発酵させるのです。このように尾形さんは次々と新しい技術に

葡萄やステビア、海草エキスで米作り。県外へも販売して積極経営

尾形さんの担当セールスマン



西日本三菱農機販売(株) 山鹿営業所 遠藤 慎一 所長

チャレンジしています。

新しい品種にも取り組んでいます。去年から尾形さんは「こまる」という新しい品種を作り始めました。これはヒノヒカリに代わるブランド米として開発された新品種で、急速に人気が高まっています。

「このあたりでは私が一番早く作り始めたでしょう。ヒノヒカリより反収が多い上、食味もいいので、これからにはこまるを増やしていくかと思っています。」

どこでも後継者不足に悩んでいますが、尾形さんの周辺では農業に参加する若い人がふえているか。

「法人化すれば、節税にもなるし、機械を購入するときに補助金も出て、機械の共同利用もできますからね。将来は若い後継者が法人化して農村の中核になるような気がしますよ。」

やり方ひとつで前途も明るくなるということを、尾形さんは証明してくれているような気がします。



山鹿の名所。江戸時代の歌舞伎の様式を残す八千代座。

|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 場所    | 熊本県山鹿市蒲生                   |
| 経営規模  | 総面積9ha                     |
| 主な作物  | 米、葉タバコ、ハクサイ、麦、カボチャ、スイートコーン |
| 保有機械  | GS250、GX511、VS328、LV5      |
| 農業従事者 | 家族2人                       |

頼もしい後継者の誕生で積極経営

竜矢さんが農業に取り組みむようになったのは「進路問題で悩んでいたところ、ラジコン防除に協力して欲しいとの要請を受け、もともと機械が好きだったので、受けたこととをきっかけに米作りに興味を持つようになりました」と竜矢さん。

今では、竜矢さんが米作りから出荷までを、逸男さんが帳簿などを担当し、親子でタッグを組んで経営しています。

「農業はさほど儲かるわけではありませんけれど、満足感は何れられますね。それに、機械が好きだったから、トラクターやコンバインに乗ったり、修理したりするのたのしい。やりがいの顔にも気があふれています。」

役場を退職した逸男さんは、「これからゆつくり野菜などを作りたい」と言いますが、若い後継者である竜矢さんの考えは別です。

「これからもう面積をふやしたいですね。できれば10haはほしい。受託できる圃場がないかと探しているところなんです。」

規模拡大を図りたい竜矢さんにとって大切なのは農機販売店の情報でした。広い地

東さんの担当セールスマン



西日本三菱農機販売(株) 津山営業所 山中 貴徳

域をカバーしていますから、情報も集まりやすいです。その情報を規模拡大に利用しようという竜矢さんにとって、西日本三菱津山支店の柏内支店長は機械のサポート役であると同時に、大事な情報源でもあるのです。

「規模拡大意欲があっても、だれが委託したがっているかという情報がなければ交渉にも入れません。でも、柏内さんのように人脈のある人につきあっていたら情報が入ってくる。あまり面識がない人はいきなり受託したいなどと言っても断られるに決まっているけど、顔の広い柏内さんに口を聞いてもらえば話も進みやすいんですよ。」

規模拡大をもくろむ竜矢さんと柏内支店長が手を組めば、規模拡大も早く進むことでしょう。



作州黒豆を使った黒豆茶。コンビニで売られている。

|       |                           |
|-------|---------------------------|
| 場所    | 岡山県勝央町                    |
| 経営規模  | 総面積、6ha                   |
| 主な作物  | 米／黒大豆／ナス／ほうれんそう／白菜        |
| 保有機械  | GX511、MT311、VY50、LE60(予定) |
| 農業従事者 | 家族4人                      |

6次産業化特集

# 6次産業化で加工・販売へ展開 経営改善と所得向上をはかる

激変する世界経済の中、日本の農業もこれまでのように、ただ米や野菜を作っただけで済まなくなるといわれる時代ではなく、多様な経営体質の参入が求められるようになってきます。もちろん生産者の皆さんもそれに気づき、さまざまな形で活路を開こうと取り組んでいることでしょう。

たとえば経営規模の拡大、複合経営、特産品のブランド化や輸出への取り組みなど、枚挙に暇はありませんが、最近、農水省は「農山漁村の6次産業化」を推進しようとしています。これは、生産者が周辺の産業も巻き込み形で所得をあげていこうという試みです。

6次産業化とは、1次産業（農林水産業）に2次産業（加工業）と3次産業（サービス業）を組み合わせれば、1次+2次+3次=6次ということ。新たな産業モデルを作りだすことをさします。

たとえば、農家自らレストランや民宿、直売所、観光農園など経営し、農家が作った野菜（農業を料理（加工業）し、客に食べてもらう（サービス業）などの試みを実施し、6次産業化を図り、農家経営改善と所得の向上を図るものです。

今回は、この6次産業化について、事例を紹介しつつお話ししていきたいと思っています。



三菱総研  
主席研究員  
木附 誠一

### 三菱総研について

創業は1970年。三菱グループ各社の共同出資により設立された。主に政府、官公庁、地方公共団体などから委託されて調査研究を行うシンクタンクで、マーケティングもしている。近年はITソリューション事業への拡大をはかっている。関連事業部門を拡大している。

### 6次産業化への壁

6次産業化に取り組むためには、どうすればいいかわからない、という声をよく聞きます。

1次産業の生産者が6次産業化に取り組もうとしたときには、さまざまな壁があります。それが以下の6点です。

- ①経営ノウハウを学ぶ機会が少ない
- ②資金が不足している
- ③加工・販売のノウハウがない
- ④加工業者が地域に少ない
- ⑤人手が不足している
- ⑥地域の反発がある

逆に、2次産業の加工業が1次産業に参画しようとしたケースで直面する問題は①採算性、収益性の判断②事業地の確保③資金の問題、④人材の確保⑤技術的支援などです。

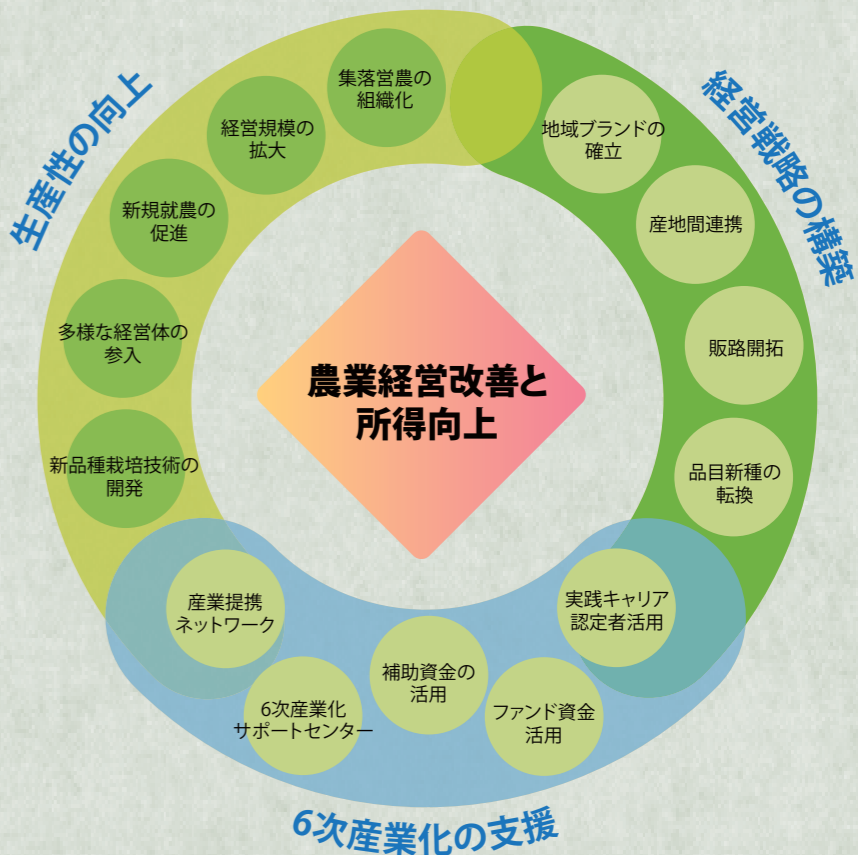
6次産業化に取り組む前に、まずこれらの壁について考える必要があります。自分のケースでは、どのような壁があり、それを克服するにはどうすればいいかを考慮してスタートする必要があります。

### 融合型と連携型

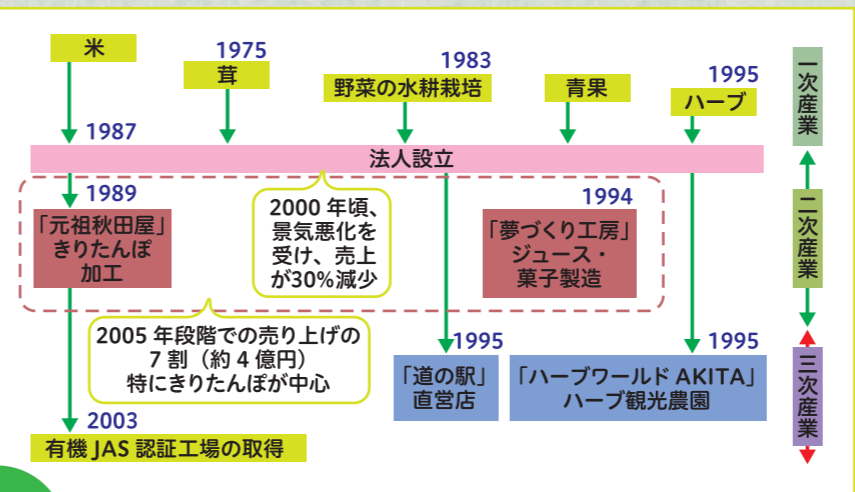
6次産業化といっても、その形態、規模などさまざま、ひとくくりにはできませんが、大きく融合型と連携型に分けられます。融合型というのは、自分の資源（土地など）を活用して、他の産業へ参入していくタイプです。これは1次産業（生産）から2次産業（加工）や3次産業（販売）へ展開しますから、おのずと他産業と競合することになります。一方、連携型は1次産業が2次産業や3次産業と提携するもので、こちらは他産業と協同することになります。

融合型の事例として、秋田県由利本庄市にある「秋田ニューバイオ

### 6次産業化と農業経営環境



### ■事業展開の流れ：「コムプラスワン」の発想で多角化



### 参考

農水省ホームページを開くと、「6次産業化先進事例集」という項目がありますので、ここをクリックすると全国の事例が紹介されています。これから6次産業化に取り組んでみようと考えている方は、是非この事例集を見て参考にしてください。  
<http://www.maff.go.jp/j/shokusan/sanki/6jika.html>

### 古い枠組みから離れた発想を

あるJA水見市が作った「水見はとむぎ茶」は、JA水見、生産者、飲料メーカーが連携し、水見特産のはとむぎ茶を使った「むぎ茶をホットポットで販売」して、販売が伸びた。この事例は、JA水見市が作った「水見はとむぎ茶」は、JA水見、生産者、飲料メーカーが連携し、水見特産のはとむぎ茶を使った「むぎ茶をホットポットで販売」して、販売が伸びた。この事例は、JA水見市が作った「水見はとむぎ茶」は、JA水見、生産者、飲料メーカーが連携し、水見特産のはとむぎ茶を使った「むぎ茶をホットポットで販売」して、販売が伸びた。

### 6次産業化サポートセンターを活用する

融合型にせよ連携型にせよ、提携する相手が必要ですが、その相手を探すのは容易ではありません。この段階であきらめてしまふ農家が多いのが現実です。

ここで役に立つのが、JAや金融機関のサポートです。金融機関が農家と2次3次の企業を結びつける商談会などを開催しています。出向いて相談してみるのがいいでしょう。

また、各都道府県のサポートセンターにおいて、6次産業の先進民間の専門家（ポランタリー・プランナー等）による1対1活用や輸出を含めた経営の発展段階に即した個別相談や課題解決に向けた実践研修会を実施することもネットワークの構築に向けた異業種との交流会



岡山県勝央町では「黒豆茶」を開発販売

今回の改正では軽油を燃料とするオフロード特殊自動車について排出ガス規制の強化が行われ、PM（粒子状物質）の排出量が9割削減されます。

| 2011年規制                          | H25年度(2013年度) |   |               | H26年度(2014年度) |   |               | H27年度(2015年度) |   |               |
|----------------------------------|---------------|---|---------------|---------------|---|---------------|---------------|---|---------------|
|                                  | 4             | 7 | 10            | 4             | 7 | 10            | 4             | 7 | 10            |
| 軽油を燃料とするもの<br>19kW以上 37kW未満 (D1) |               |   | (10/1)新車規制適用日 |               |   | (10/1)新車規制適用日 |               |   | (9/1)新車規制適用日  |
| 37kW以上 56kW未満 (D2)               |               |   | (10/1)新車規制適用日 |               |   | (10/1)新車規制適用日 |               |   | (11/1)新車規制適用日 |

詳しく下の環境省のホームページにアクセスください。  
[http://www.env.go.jp/air/car/tokutei\\_law.html](http://www.env.go.jp/air/car/tokutei_law.html)

### 対策

#### 農業機械にも排ガス規制

環境省では地球温暖化の防止のため、平成18年度より「特定特殊自動車排ガスの規制等に関する法律（オフロード法）」による一部農業機械を含み、特殊車両（油圧ショベル、ブルドーザー、フォークリフトなど）の排ガス規制が始まっています。平成23年度から排ガス規制が強化され、エンジン定格出力の大きい順に3段階で実施され、定格出力19kW（26PS）以上56kW（76PS）未満の農業機械は、平成25年10月から新車において、PM（粒子状物質）排出量9割削減が義務づけられます。三菱農機でも排ガス対策に力を入れ、規制値に対応する製品開発に努力しています。



### ご注意

#### お気をつけてください、農業機械の盗難多発。

埼玉県警察本部の調べによると、農業機械の盗難件数は平成22年に9件であったものが23年には115件と急増しています。この傾向はさらに続くものと思われ、同県では防犯チンパンを作って、注意喚起を行っています。

近年、性能の良さが評判で、中古の農業機械は東南アジアを中心に海外で広く使われています。犯罪者はそれに目をつけ輸出目的に盗んでいるのではないかとされています。



前号で紹介の「つや姫」も人気ブランド



### アンテナ

#### お米食味ランキング

うまいコメランキングの分布が大きく変わりとはいわれませんが、日本穀物検定協会の調べによると、ここ数年の傾向で、「ゆめぴりか」「ななほのほし」など、北海道産のお米が上位ランキングに入ることが多くなっています。上位ランキングの定番の新潟産コシヒカリに引けを取らないお米ができるようになったと言われます。

かつて、北海道では耐寒性に秀でた品種で収量確保が第一でした。近年の温暖化傾向は北海道のお米の生産には好条件を生み出し、併せて品種改良の努力で、低タンパクで粘りのあるお米ができるようになったことが大きな要因です。また、かつてランキング下位にあった九州産のお米ですが、「元氣つくし」「さがびより」なども上位を占めています。品種改良や耐寒・耐暑対策に込められたお米づくりの努力が、お米ランキングに表れています。

ごはん讃歌

Profile

1950年、山口県下関市生まれ。1975年、北島三郎に弟子入り。1980年「みちのくひとり旅」が大ヒット。以降数多くのヒット曲を発表、多くのファンに支えられて活躍。1981年から連続14回紅白歌合戦に出演。2012年、「蓬莱橋（ほうらいばし）」絶賛発売中。



山本譲二さん

農業と聞いて思うのは

最近やっぱり気になるのは、野菜等の産地ですね。商品のラベルに生産者の方の名前などが入っていると安心します、食べる人が作り手を信用できるかどうか、これは大きいですよ。農業をやっている皆さんには、これからの元気を出していただきたいと思います。日本は資源などが限られていますから、そんな中でも米や野菜、果物などを作ることができると、皆さんこそこれからは一番強くなるんじゃないかと思えます。自分たちが頼りにできるのは生産者の皆さんだけですからね。

野球部でできた歌唱力

中学校から野球を始めて、高校では甲子園を目指してました。野球をやっている頃は練習もきつかったですけど、よく食べてましたね。練習の帰りに途中のうどん屋さんで、うどん一杯とお稲荷さんを二つ三つ摘んで、5分くら

北島三郎さんとの出会い

高校卒業後は、野球部の監督の推薦で地元の企業に勤めましたが、どうしても歌の道が忘れられなくて、東京に出てきました。東京で弾き語りしている時に偶然に作曲家の浜圭介さんにお会いして、浜先生のおかげでデビューすることができました。その曲は残念ながらヒットしませんでした。その後自分でもどうすればいいかわからなくなり、意を決して北島三郎さんを訪ねました。当時北島さんが新宿のコマ劇場で公演されていたので、その楽屋に訪ねていきました。楽屋

いであに着くんですけど、帰ったらどぶろけで2杯食べました。やっぱり米食わないと力が出ないです。今も元気なのはお米のおかげじゃないですか。野球部では、先輩に歌を歌わされました。「お前、野球より歌のほう、がうまいんじゃないか」なんて先輩に言われてね。その言葉を信じて歌手を目指しちゃったというところもありますね。

に入るわけにはいきませんから廊下で待っていました。北島さんが出てこられたら挨拶して、2時間ほどで舞台を終えて戻ってこられたらまた挨拶。一日が終わって帰られる時にまた挨拶。これを十日ほどやりました。ある日、楽屋から出てこられたので挨拶しました。北島さんが「君は何だ？」と始めて声を掛けてくれました。「自分はいつたんデビューした歌手ですが売れませんで、先生のところで修行をさせていたきたいのです」と言いました。「君はずいぶんがっしりしているけど、野球がなんかやっていたのか？」と聞かれました。「はい、甲子園に行きました」と答えますと、そのとき先生が役で身につけていた森の石松の荷物を渡されたんです。「瞬迷いましたけど、あつこれはついていってこようかと思いましたが、修行生活のはじまりでした。いまから31年前のことです。それから7年目で「みちのくひとり旅」というヒット曲に出会うことができ、おかげさまでこまごますることができました。

野菜ソムリエのおすすめ

ソムリエというのは、本来は、レストランで「ワインを専門に」給仕する人のこと。フランスでは国家資格で、ワインに関するかなり高度な専門知識と識別能力を持った人と尊敬されています。そのワインを野菜に換えたのが野菜ソムリエです。

一口に野菜といっても、産地や品種、生産履歴、鮮度や価格、食味などさまざまです。健康志向の高い消費者は安心安全を基準に野菜を求めます。そこで野菜に関する専門家として野菜ソムリエが注目されるようになりました。昔なら近くの八百屋さんで、「これはどこでとれたもので、いっとう食べればいい」と教えてくれたものですが、ベテランの八百屋さんがめっきり少なくなつた今日では、野菜ソムリエがその役割を担うことになりました。

資格を持つタレントも

この資格を持つタレントも大勢います。たとえば、西田ひかる、高木美保、大桃美代子さんなどです。女性が多いのですが、田村淳さんなど男性のタレントが資格をとっているのが注目されます。

土作りの講義も

野菜ソムリエの資格を取得するために講義を受け、野菜についてさまざまな知識を学びます。野菜の種類、品種

男子厨房に入らずの時代は遠い昔。今は料理ができる男が評価される時代でもあります。

原産地、伝来のルーツ、選別法のほか、野菜摂取の現状や生活習慣病との関係から農政、価格形成まで、あらゆることを勉強します。さらに、土作りや肥料、農薬、野菜作り全般について学びます。もちろん生産者の皆さんはご存じのことですが、野菜作りを白紙から見直すのも悪くない

資格取得は難関

資格をとるには、「日本野菜ソムリエ協会」か「日本ベジタブル&フルーツマイスター協会」で受講しますが、どちらも初級コースから上級コースまであり、受講料は年十数万から三十万円ほど。受講後に試験を受け、合格した方が資格を取ることが出来ます。後者の協会で資格をとったのは全国に一万五千人ほどいますが、シニアマイスターは十三人しかいません。

農家の方こそ野菜ソムリエになつてほしい

6次産業化への取り組みが盛んになり、生産者もただ作るだけでは通用しない時代に

のではないのでしょうか。

なりました。直売所や観光農園などもふえています。販売の現場に野菜ソムリエの資格を持った人がいれば、正しい知識が得られ、消費者の購買動向も変わってきます。この資格が生産者の付加価値になることは間違いありません。日頃野菜の生産にたずさわる農家の皆様にこそ、野菜ソムリエになつてほしいもの。そうすれば、大いに野菜の普及拡大につながるでしょう。



ASUMA 読者広場

当るといいな!

三菱農機ではトラクタ・田植機・コンバインの愛称を ASUMA に変更いたしました。皆様の一層のご愛顧をいただけるよう新ブランド ASUMA のキャラクター（アスマちゃん=下の絵）をつくりました。そこで編集部では楽しいプレゼントが当たるクイズを用意いたしました。この愛称を当ててください。



ヨロシクね!

下記の空欄○に相応しい文字をあてはめて送ってください。正解の方に抽選で「山本譲二さんのサイン入り色紙」と豪華プレゼント（ラバー軍手とLEジャケット）が当たります。

お答えはハガキに①お答え②住所・氏名・年齢③その他ご意見・ご感想を書いて下記の宛先に2013年4月末日までにご応募ください。

クイズ 新ブランドのキャラクターの愛称は

「○スマ」ちゃんです。

お答えは下記へどうぞ▼  
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-5-1  
三菱農機(株)事業本部 アスマ編集部



アスマオリジナルラバー軍手とLEジャケット

三菱農機アスマ編集部へのご意見・ご感想・励ましの言葉ありがとうございました。

本社 島根県松江市東出雲町揖屋 667-1 ☎ 0852(52)2111(代)

事業本部 東京都品川区西五反田1-5-1 ☎ 03(5759)8060  
(東京事務所)

- 東日本三菱農機販売(株) 埼玉県久喜市桜田2-133-4 ☎ 0480(58)9524
- 北海道支社 ☎ 0123(22)1234 関東甲信越支社 ☎ 0480(58)9521
- 東北支社 ☎ 022(207)3711 東海支社 ☎ 052(419)6721
- 西日本三菱農機販売(株) 岡山県瀬戸内市邑久町豆田161-1 ☎ 0869(24)0805
- 北陸支社 ☎ 0776(27)3078 九州支社 ☎ 0942(84)1888
- 西日本支社 ☎ 0869(24)0820



ホームページ http://www.mam.co.jp/